



『ミンのあたらしい名前』

ジーン・リトル/著 田中 奈津子/訳
講談社 2011年出版 請求記号：92.リ



ミンは赤ちゃんのころ捨てられた孤児。年は11才位。赤ちゃんだったから本当の年はわからない。今、11月のカナダの冷たい雪が降るなかで、また「ゴミ箱にもどるんだ…」。ミンは里親のもとで育てられているけれど、いろいろな「おとなのつごう」で何度も里親が変わります。親がいない子どもは、いつかほんとうに安らげる居場所が持てるのでしょうか。

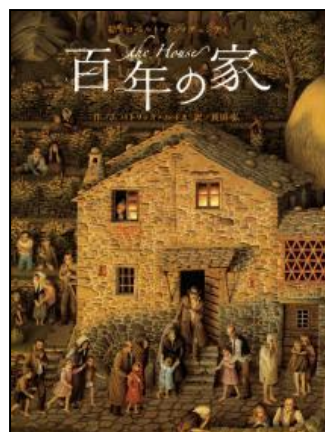


『いとこの森の家』

東 直子/著 ポプラ社
2014年出版 請求記号：91.ヒ



小学校四年生の加奈子は、近くの森の家に住むおハルさんが気になります。いつもやさしくて子ども達の人気者、でも死刑囚の慰問に行っているのだという。死刑囚って悪い人じゃないの？ そんな人と話をするってこわい事？ 昨年「坪田 譲治文学賞」を受賞した、大人も子どもも一緒に楽しめる作品です。おうちの人と「家読」して、感想を話し合ってみると面白いですね。



『百年の家』

J・パトリック・ルイス/作
ロベルト・インノチェンティ/絵
長田 弘/訳 講談社
2010年出版 請求記号：Eコ



古い丘に立つ家に、また人が住むようになったのが1900年。それから畑ができた、結婚式があったり、建て増しをしたり、戦争が起こったり…。石でできた古い家は、ここに住む人たちに起こった出来事を静かに見守っています。この時代の人たちがどんな生活をしていたのか、家と一緒に感じる事ができる本です。

夏休みにこれ読んで！

あつ～い夏に
読書はいかが？



本を読んで
クールに
すごそう！！

図書館名	所在地	開館時間	休館日
多摩市立図書館(本館) 電話 373-7955	落合2-29	平日 9:30~18:00 土日 9:30~17:00	毎月第一木曜日 国民の祝休日
東寺方図書館 電話 371-2242	東寺方626-7	平日・土日 10:00~17:00	木曜日 国民の祝休日
豊ヶ丘図書館 電話 374-6581	豊ヶ丘5-6	平日 10:00~18:00 土日 10:00~17:00	
聖ヶ丘図書館 電話 339-7333	聖ヶ丘2-21-1 ひじり館1階		
関戸図書館 電話 371-1004	関戸1-1-5 ザ・スクエア2階	平日 10:00~19:30 土日祝休日 10:00~17:00	木曜日
永山図書館 電話 337-6211	永山1-5 ベルブ永山3階	平日 9:30~19:30 土日祝休日 9:30~17:00	
唐木田図書館 電話 338-0660	鶴牧6-14 からきだ菖蒲館1階	平日 10:00~18:00 土日 10:00~17:00	月曜日 国民の祝休日
行政資料室 電話 338-6888	関戸6-12-1 市役所第二庁舎1階	平日 8:30~17:00	土曜日・日曜日 国民の祝休日

*国民の祝休日とは国民の祝日に関する法律に規定する休日

*このほかに、年末年始と特別整理期間も休館日です

※ には、本を読んだ日などを書いておこう

小学4・5・6年生用 多摩市立図書館 2016年7月

図書館ホームページアドレス <http://www.library.tama.tokyo.jp/>

さあ、何冊読めるかな？



『マグナス・マクシマス、なんでもはかります』

キャスリーン・T・ペリー／文

S・D・シンドラー／絵

福本 友美子／訳 光村教育図書

2010年出版 請求記号：Eミ

「はかる」って知ってる？ 長さ・重さ・時間・におい・かたさ…他にも何がはかれるかな。なんでもはかるマグナス・マクシマスですが、数でははかれない、人とのふれあいにも気づきます。



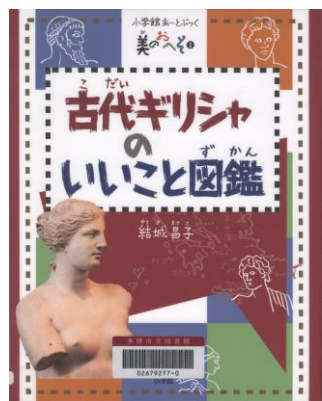
『棚田を歩けば』

青柳 健二／文・写真

福音館書店 2007年出版

請求記号：61

棚田を見たことはありますか。棚田とは山の斜面や谷間に、階段状に作られた田んぼのことで、干枚田とも言います。土地の形に合わせて田んぼを作るので、一枚一枚は小さくて同じ形がありません。こんな山の上でどうやってお米が作られているのでしょうか。棚田の美しい写真とともに、田植えや稲刈り、あぜ道や石垣の手入れなど、米作りの様子がよくわかる本です。



『古代ギリシャのいいこと図鑑』

結城 昌子／著作 小学館 2011年出版

請求記号：71

古代ギリシャといえばパルテノン神殿!? いえいえ他にもいっぱいほり出し物があります。畑や海底から発見された彫刻やつぼなどが紹介されているこの本では、約2500年前に栄えた古代ギリシャの文化芸術を、私たちも目にできます。はるか昔の人たちの生活を想像してみるなんて、時間旅行みたいです。今も海の底にねむっている銅像があるかも。ぼうけんみたいです。



暑いけど、楽しい本を読むと夢中になって暑さを忘れられるかも。この夏、何冊読むことができるか、チャレンジしてみてください！



『べんり屋、寺岡の夏。』

中山 聖子／作

文研出版 2013年出版 請求記号：91.ナ

尾道に住む美舟の家はべんり屋。買物代行や銭湯の掃除、庭の草むしりや迷子犬さがし等々、何かと依頼はあるのです。そんなべんり屋寺岡に、クラスの垂衣ちゃんからまい込んだ相談事は…。もう子どもっぽく「夢」を語れない小学校五年生、夏休みのできごと。



『続 被爆者 70年目の出会い』

会田 法行／写真・文

ポプラ社 2015年出版

請求記号：21

71年前の第二次世界大戦で、広島と長崎に原子爆弾が投下されました。被爆した人たちの中には今も苦しんでいる人がいます。亡くなった方もいます。それだけ長い年月がたちました。でも、死ぬ前に戦争のおそろしさを伝えたいという人たちがいます。本当の記憶を受けつぎたいという人たちがいます。今と未来の平和のために、知っててください。『被爆者 60年目のことば』2005年出版もあります。



『彼の手は語りつく』

パトリシア・ポラッコ／文と絵

千葉 茂樹／訳 あすなろ書房

2001年出版 請求記号：92.ホ

1861年から1865年まで、アメリカが南と北に分かれて戦っていた時がありました。15才の少年セイも戦争に行きました。まさかこんなひどいことが起こるなんて思いもしないで。足をうたれて動けないセイは、同じ北軍の少年兵ピンクに助けられます。でも、二人ともいつ敵に見つかって殺されるかわからない。もう家に帰りたい…。死地を乗り越えた北軍の少年兵が子孫に語り伝えたお話です。

